

## 市況が好転して増加し始めたのはこの5年 借家1カ月当たり家賃は7・1%の増加

『令和5年住宅・土地統計調査』の確報集計から、家賃の動向をまとめました。これまで大きな変化もなく堅実に推移している家賃も、ここへきて変化を見せていました。

借家の種類別家賃の推移全国(2008年~2023年)

1カ月当たり家賃(円)／下段:増減率(%)

	総数	公営の借家	UR・公社の借家	民営借家(木造)	民営借家(非木造)	給与住宅
2008年	53,565	22,253	64,048	51,569	64,722	28,125
2003年~2008年	4.9	1.1	9.5	3.9	-0.1	18.4
2013年	54,052	22,394	67,005	51,030	63,005	30,684
2008年~2013年	0.9	0.6	4.6	-1.0	-2.7	9.1
2018年	55,695	23,203	69,897	52,062	64,041	34,049
2013年~2018年	3.0	3.6	4.3	2.0	1.6	11.0
2023年	59,656	24,961	71,8315	54,4096	68,548	37,993
2018年~2023年	7.1	7.6	2.8	4.5	7.0	11.6

※出典:「令和5年住宅・土地統計調査」(確報集計)総務省

75歳以上の高齢者のいる主世帯  
この10年で380万世帯増

高齢者の入居対応が大きな課題になっています。物件の入居促進を図る一方で、高齢者の入居に対して、慎重姿勢のオーナー様もおられます。そこで、住まいに関する最新の高齢者事

月1日時点の「高齢者のいる世帯の状況」によると、65歳以上の高齢者のいる世帯は、10年前の2013年が2084万世帯であったのが、2023年には2375万世帯となつて、主世帯全体に占める割合は42.7%と、2018年に比べ0.7%

高齢者のいる世帯のうち、高齢単身世帯が32.1%(761万7千世帯)で、過去最高となつています。高齢者のいる夫婦のみの世帯は28.9%(686万9千世帯)、高齢者のいるその他の世

見ると、「公営の借家」が2018年比7.6%増の2万4961円、「都市再生機構(UR)・公社の借家」が2.8%増の5万44096円、「民営借家(木造)」が4.5%増の5万44096円、「民営借家(非木造)」が7.0%増の3万793円と、高い伸びを見せてい

ます。貸賃住宅に限つて見ると、年前の「民営借家(木造)」が5万1030円で、「民営借家(非木造)」が6万3005円ですべて、5年前の2018年と比べ、7.1%の増加となつています。なお、この家賃には、敷金・押金・礼金や共益費・管理費などは含まれていません。

家賃の傾向を借家の種類別に見ると、「公営の借家」が2018年比7.6%増の2万4961円、「都市再生機構(UR)・公社の借家」が2.8%増の5万44096円、「民営借家(木造)」が4.5%増の5万44096円、「民営借家(非木造)」が7.0%増の3万793円と、高い伸びを見せてい

ます。

貸賃住宅に限つて見ると、年前の「民営借家(木造)」が5万1030円で、「民営借家(非

木造)」が6万3005円ですべて、5年前の2018年と比べ、7.1%の増加となつています。また、借家の1畠当たりの家賃もこの5年間に上昇を

しています。

国が5年に一度、全国規模で実施する住宅・土地統計調査の調査データをもとに様々な政策が作成されます。それだけに家賃の傾向についても、ザックリと市況の傾向を捉えるのに役立つと思われます。

市場の家賃は、第一に地域の相場によって概ね決定します。道路1本、日当たり、築年数、間取り等の条件で価格は変わります。調査結果の全国的な平均価格は、市場の流れを見る参考にしてください。

建物の気になる箇所は、時

間に余裕のあるこの時期に

設備更新の手配や建物のメンテナンスをして、準備万端に

なりました。これから年

末に向か、ひと足早く年明け

今年も残すところ2カ月ほ

どとなります。これから年

末に向か、ひと足早く年明け

今年も残すところ2カ月ほ

<div data